

産業厚生委員会行政視察報告書

作成者 吉嶺周作

令和1年10月30日

(調査先) 愛知県東海市しあわせ村

東海市は、人口 114,827 人・世帯数 50,600 戸・面積 43.43^mで、昭和44年、上野町、横須賀町と合併を経て現在に至っている。

調査事項の「いきいき元気推進事業」については、カゴメソースの創業者の出身地であり市内にカゴメソースの工場もあり、毎月10日をトマトの日として、小・中学校・保育園等にトマト新聞を配布したり、トマトで健康プロジェクトやトマトで健康フェスティバルなど企業との事業連携を図っている。

また「いきいき元気推進事業」を平成23年から開始し、市職員42名で委員会を設置しており、この委員会を中心に運動・食生活応援メニューのチラシを作成したり、市内にある10カ所の公園をウォーキングコースとして整備し、主に高齢者が利用しているとの事でした。

令和1年10月31日

(調査先) 静岡県焼津市 汐入下水処理場

焼津市は、人口 139,594 人・世帯数 57,275 戸・面積 70.31^mで、昭和26年市制施行、合併当時 31,016 人・5,604 戸で始まり、5回の町や村の編入を経て現在に至っている。

調査事項の下水道事業においては、水産加工場は市街地に2件しかなく、その他の工場は郊外に建設されているため、下水道接続は2件であるため BOD・SS とともに国の基準値内であるということです。

市街地の公共下水道接続については、22.2%が接続済みで残りの77.8%は合併浄化槽で処理しているとの事でした。今後、下水道事業については国から広域化や民間委託での運営の話があるとのことでした。

(別紙資料添付)

令和1年10月31日

(調査先) 静岡県沼津市沼津港

沼津市は人口195,039人・世帯数91,624戸・面積186.96㎡で大正12年沼津町、楊原村と合併し市制施行した。その後4回の合併を経て現在に至っている。

調査事項の「みなとオアシス沼津」については港、近辺には100軒ほどの飲食店やお土産店が並び港関係者や観光客があふれ、賑わっており駐車場の確保に困っているとのことでした。

去年は、全国に約120カ所ある港版・道の駅として注目されている「みなとオアシス」の専門家が選んだランキングで全国1位になったということで、まちが盛り上がり行政の取り組みというよりは、港を利用した市民中心型のイベント開催など、活気があふれる町だと印象を受けた。

(焼津市)

下水道使用料

(税抜)

(1ヶ月につき)

施行年月日	平成30年 4月1日 から	平成5年 4月1日 から	昭和63年 4月1日 から	昭和54年 12月22日 から
料金徴収区分				
一般汚水				
基本使用料 (10m ³ まで)	1,028円	910円	680円	530円
従量使用料 (1m ³ につき) 10m ³ を超え	103円	91円	68円	53円
100m ³ までの分				
100m ³ を超え				
1000m ³ までの分	121円	110円	82円	64円
1000m ³ を超える分	126円	117円	87円	68円
公共浴場汚水				
基本使用料 (10m ³ まで)	1,028円	910円	680円	530円
10m ³ を超える分	52円	46円	34円	27円

13% ← 改定

13% ←

10% ←

8% ←

A ↑

4000万円 of 増収

(焼津市)

水質使用料

使用者が以下(1)、(2)の水質の汚水を公共下水道に排除するときは、当該汚水の排除量1㎡につき別表第2により算出した額に100分の110を乗じて得た額を使用料に加算する。ただし、汚水の排除量が1使用月について300㎡以下のときはこの限りではない。

- (1) BOD(生物化学的酸素要求量)が1ℓにつき5日間に200mgを超える水質の汚水
- (2) SS(浮遊物質)が1ℓにつき200mgを超える水質の汚水

別表第2(第14条関係)

汚水の濃度		加算額 (1㎡につき)	
		BOD	SS
汚水 1ℓ中 の BOD 又は SS	200mgを超え 300mgまで	10円	10円
	300mgを超え 600mgまで	20円	20円
	600mgを超え 1000mgまで	40円	40円
	1000mgを超え 2000mgまで	80円	80円
	2000mgを超えたときは 1000mgまでずつ増すごとに	80円に60円 ずつ加算	80円に60円 ずつ加算